

広島皆実高等学校の「語りつぐヒロシマ」が 大阪市立平野小学校6年生に語り継がれます！

広島皆実高等学校の生徒が、10月26日（木）修学旅行で広島を訪れる大阪市立平野小学校の児童と平和学習交流を行います。広島皆実高等学校同窓生で語り部の河田和子さんから語り継がれた被爆体験の実情や平和への思いを、生徒たちが平野小学校の6年生に語り継ぎます。

1 日 時 令和5年10月26日(木)
14:30～16:00

2 場 所 広島皆実高等学校 第一体育館
(広島市南区出汐二丁目4-76)

3 内容

令和5年7月28日（金）広島皆実高等学校が、広島市立段原中学校と連携して毎年開催している「語りつぐヒロシマ」を広島市段原公民館で行いました。広島皆実高等学校同窓生の河田和子さんが語り部として自らの被爆体験を話し、生徒会と段原中学校放送部が運営を行いました。その活動を知った大阪市立平野小学校からの依頼により、10月26日（木）に修学旅行で広島を訪れる平野小学校の6年生116名に、河田さんから語り継がれたことや、平和な時代を築いていくために自分たち若い世代がどのように行動していくのかを、今度は広島皆実高等学校の生徒たちが自分の言葉で語り継ぎます。

4 参加予定者

広島皆実高等学校 生徒会執行部・放送部生徒 20名、同校同窓生 河田和子氏
大阪市立平野小学校6年生 116名
両校の関係教職員



(令和5年7月28日（金）段原公民館で行われた「語りつぐヒロシマ」の様子)